

再生医療・細胞治療の 社会実装の加速には 何が必要か



講師 **八代嘉美** 先生

日時
会場

2022年 **10月27日** (木)
16:00~17:00
臨床講義室D

講演
趣旨

我が国では2014年、世界に先駆けて再生・細胞治療に関する法律が制定され、国として研究・開発に大きな注力がなされてきたが、再生医療等製品が広く普及しているとは言えない状況にある。そこには、科学的な要因のほか、プレイヤー不足、あるいは規制環境の不十分さに起因するような問題がある。一方、世界で最も多く用いられている細胞治療はCAR-Tであり、「日本発」の技術が世界的に展開しているとはいえない状況にあることも事実である。今回は再生医療・細胞治療の日本の世界の状況について概観するとともに、今後の再生・細胞治療が発展するために必要なことは何かを検討したい。

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 / 東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター / 慶應義塾大学医学部生理学教室・殿町先端研究教育連携スクエア / 国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞医療製品部

参加費
無料

申込み
不要

お問い合わせ

筑波大学附属病院
再生医療推進室

E-mail

CPF-info@md.tsukuba.ac.jp